

意見公募手続き（パブリックコメント）に寄せられたご意見の公表について

1. 案件名：武雄市公共施設等個別施設計画（全体編）一部改訂（案）

（武雄市文化会館大ホール整備方針の見直しについて）

2. 意見の募集期間：令和7年5月14日（水）～6月12日（木）

3. ご意見の提出件数等：142件

今回のパブリックコメントにつきましては、市内外から多くの皆様にご意見をいただきました。

特に日頃より文化振興に携われている団体の皆様や活動団体に所属する子どもたちから、文化会館大ホールや舞台への思いを届けていただきました。

ご意見の概要については、大ホール棟廃止（解体）方針に対して、存続を望むご意見やプロセスの不透明性、文化・歴史的価値のある建物の喪失などに関するご意見が提出されました。

そのほか代替案を具体的に示してほしい、中規模ホール等を整備してほしいなどのご意見がありました。

また改修費・維持費増大への懸念や代替施設の活用の可能性から大ホールの廃止を望むご意見等がありました。

ご意見の概要については（別紙1）のとおりです。

ご意見の全文は（別紙2）のとおりです。※個人情報を除く

ご意見の概要	件数	うち件数	提出者住所・団体等所在地			
			市内	市外	県外	不明
方針見直しに反対のご意見	121		73	25	7	16
うち大ホールの存続		99				
うちプロセス等		22				
うち建て直し等		17				
方針見直しに賛成のご意見	18		8	0	0	10
その他	3		0	2	0	1
合 計	142		81	27	7	27

※うち件数の合計については、件数と一致しません

4. 文化会館大ホール整備方針について

文化会館大ホールの整備方針見直しにつきましては、市議会のご意見を踏まえ、市民や有識者の方々への意見聴取、関係団体への説明を経て、庁内で検討を進めてきました。その結果、大ホールの利用状況や周辺環境の変化、改修費用の高騰、改修後の維持管理費などを十分に考慮し、他施設の機能強化を含めた利活用も踏まえ、「長寿命化」から「廃止・解体」へと方針を変更しました。

しかしながら、この方針決定に至るプロセスや説明が十分でないのご意見、また他施設の活用に対する疑問など、多くのご意見が寄せられました。改めて関係団体等へご説明し、ご意見を伺ってきましたが、現時点での結論には、もう少し時間が必要であると判断いたしました。

今後も、これからの文化施設や文化振興のあり方について、幅広くご意見を伺いながら検討を進めていく所存です。

その上で、最終的な方針を決定し、改めてご報告させていただきますので、ご理解をお願いいたします。

番号	ご意見の概要
1	武雄市文化会館大ホール棟の存続を望む意見（プロセスの不透明性などについて）
	・大ホール改修から一転して取り壊しが決定された、市民の意見を聞かずに一方的である。重要な判断にもかかわらず、市民への説明が極めて不十分である。 ・関係団体からの意見聴取を行ったとされるものの、その結果や意見がどのように検討・反映されたのかが市民には開示されていない。 ・多くの人が納得できるプロセスと姿勢が必要である。 ・文化サークル関係者への意見聴取の場での市側の説明が廃止解体ありきであり、納得のいくものではなかった。 ・小ホール解体時に大ホールは残すと説明されていたにもかかわらず、今回その前提が覆された、だまされたようだ。
2	武雄市文化会館大ホール棟の存続を望む意見（文化・歴史的価値ある建物の喪失）
	・ホールをなくすことは市民の心に芽生えた芸術の芽を摘み、心の豊かさを失わせることに繋がる。 ・小ホールの解体に続き大ホールまでなくなれば、文化が衰退する。 ・武雄市民にとっての文化拠点であるだけでなく、西九州エリアにとっても様々な文化活動を支えてきた貴重な公共空間であり、西九州全体の文化活動や公共ホールのネットワークという観点からも、損失である。 ・世界の小澤氏が認めたほどの音響を持つホールの解体は、一流の芸術に触れる機会が失われ、武雄の文化の大損失である。 ・子どもや若い方の文化を高めるためにも是非残してほしい。中学校や高等学校の音楽関係行事等が困らないようにしてほしい。 ・武雄市が掲げてきた「文化都市」としてのアイデンティティが失われる。 ・新幹線開通や大学開学による若者呼び込みの動きと、大ホール解体方針が『成長する文化づくり』『文化に関わる人づくり』『文化によるまちのにぎわいづくり』とは逆の構想である。 ・経済対効果で文化芸術は測れない、芸術文化を守るのが市の役割である。

3 武雄市文化会館大ホール棟の存続を望む意見（代替案・将来展望への懸念や要望）

- ・解体後の土地活用はどうなるのか。
- ・文化施設に限らず、他の公共施設の活用及び必要に応じて機能強化を図っていくことで対応したい、とあるが具体的に述べていただきたい。
- ・大ホールの解体によって、今後の文化活動については、まったくビジョンが見えない。大ホール利用者への活動の場はどのように確保されるのか。
- ・新設予定の多目的ホールについては、現ホールとの規模が大きく異なり、大人数の発表に対応できない。音響や照明、反響板もなく機能不足である。
- ・北方文化ホールではステージが狭すぎるため、吹奏楽の演奏会などで2グループに分かれなければならない。
- ・北方文化ホールの舞台の広さを変えることは現実的ではない。音響・空調、アクセスの悪さ、時期によっては町民ファーストで使いづらいこともあり、大ホールや小ホールの代替は出来ない。
- ・北方文化ホールもかなり古い施設なので改修して長く使うのには無理がある。
- ・ケーブルワン・スポーツパークは舞台、音響設備等がなく代替施設にはならない。
- ・新文化交流施設にできるという多目的ホールについては、多角形型のつくりや施設設備が不明なため、判断材料が足りない。

4 武雄市文化会館大ホールの存続を望む意見（稼働率への疑問）

- ・コロナ禍の影響を受けている時期の稼働率データをそのまま判断材料とすることは適当ではない。
- ・近隣にSAGAアリーナや鹿島市民文化ホールがあることと、稼働率の低下は直接の関係はないと思われる。魅力ある催しがあれば稼働率は上がる。
- ・稼働率向上には、市の積極的誘致活動や専門的人材の配置が必要である。市は稼働率を上げる十分な努力をしてこなかった。
- ・長寿命化の方針時から稼働率の低下があるが、再整備して利用率を上げる努力をしていくということであった。

5 武雄市文化会館大ホールの存続を望む意見（近隣施設状況への疑問）

- ・SAGAアリーナ（8000～1万人規模）や鹿島市民文化ホール（800席規模）は、規模や音響、利用形態が武雄市文化会館大ホールとは異なり、適切な代替施設ではない。
- ・SAGAアリーナや鹿島市民文化ホールは、武雄市から見て近隣とは言えない。市民の利用には適さない。
- ・鹿島市にも鹿島市民文化ホールができたが、西九州新幹線開通等を生かし、1000人規模の誘致が可能になるのではないか。
- ・過去には周辺施設があっても武雄にホールが必要と説明していたのではないか。

6	武雄市文化会館大ホールの存続を望む意見（財政問題等への疑問）
・費用が高いからと早々に見切りをつける姿勢は、行政の判断として疑問である。 ・財政難を理由に大ホールを壊す一方で、武雄アジア大学構想には13億円を支出するという判断は理解できない。文化施設が軽視され、他のプロジェクトが優先されている。	
7	武雄市文化会館大ホールの存続を望む意見（資金調達等への提案）
・新たな資金調達方法の検討はできないか（クラウドファンディング・ふるさと納税の活用） ・他市のホールを利用したまちおこしに事例や地方創生やビジネスのアイデアを流用し、ゼロベースで自由に文化施設を持てる形を検討できないか。	
8	武雄市文化会館大ホール建て直し等を望む意見
・大ホールとまではいかなくとも、500人程度の音響の良い施設や、中学校や高等学校の吹奏楽部が乗れる位のステージを持つ1000席位の音楽ホールの建設を求める。文化振興の拠点として整備されるべき。 ・大ホール改修に充てていた費用や北方の改修費用で、中規模のホールを建設することはできないか。 ・中ホール程度の規模で残すべき。 ・解体されても、新しく大ホールのような夢をかなえる、子ども達の目標となるような場所を作してほしい。子どもたちの文化活動の場を確保してほしい。 ・地域の文化拠点としての役割を果たす存在として、武雄市にふさわしい舞台と客席を持つホールが必要である。 ・新設予定の多目的ホールを、文化活動の質を向上させるために、音響効果が得られるホールへ改善を要望する。 ・中ホールの建設か、多目的ホールをもう少し大きくして音響照明等整えたものに変更してもらいたい。既存の体育館などでは代替が困難である。 ・大ホール解体ありきで進めるのではなく、新施設の全体計画を見直すべき。 ・敬老会などが開催できる施設の武雄町への設置を希望する。	

- ・ 500人規模の北方文化ホールがある、既存施設や新たな多目的スペースで対応できるのではないか。
- ・ 北方文化ホールもいずれ古くなるので、その時にホールが必要か考えるべき。
- ・ 文化、芸術、エンタメの伝え方、実施方法も多岐になっている、これからの維持費等を考えると解体も仕方ないかと感じる。
- ・ 文化施設に特化した施設より、大規模会議等に対応できる施設の設置を希望する。旧文化会館、大学、スポーツパークといった既存施設と連携することで、効率的な活用が可能になる。
- ・ 利用が見込めない建物に多額の費用をかけることは避け、まずは市民の生活を最優先に税金を使ってほしい。
- ・ 維持管理費には多額の財政支出が伴う、次世代への負担を残さないためにも大ホールの廃止に賛成する。
- ・ 文化会館ができた当時は九州内でも一番大きいホールだとは聞いたことがあるが、今はだれも来ない時代遅れのホール。あればいいと思うが武雄市に本当に必要なのかは慎重に考えるべきだと思う。